

# 九州産業大学情報科学部

## 1. 九州産業大学情報科学部

社会と人間が必要とする情報環境を創造する情報技術者を育成

情報技術（IT）の急速な進歩で、私たちの生活環境は一変しました。これまでフィクションとしか考えられていなかったことが現実になっています。その一方で、コンピュータウイルスやネット犯罪、迷惑メールなど、さまざまな社会的問題が発生しています。社会や人間にとって、何が本当に必要な情報なのかを見極め、対処する方法を確立する必要があります。

しかし、今の日本には、情報に対する倫理観や責任感を持ってこれからの情報技術の発展に貢献できる技術者や、正しい情報を入手する手段の開発や普及に貢献できる技術者の数が圧倒的に不足しています。

九州産業大学では、これに対応するため、2002年4月、情報科学部を開設しました。情報科学部は、社会情報システム学科と知能情報学科の2学科からなり、情報科学・情報技術の基礎を確実に身につけ高い倫理観を持った職業人として社会に貢献する人材の育成、社会の仕組みや人間の特質を知って情報技術を適切に適用できる能力を持った人材の育成をめざします。そのために情報科学部では以下の5つのポイントを打ち出しています。

- (1) 全員が情報科学の基礎知識・技術を修得した後、学科独自の学習・研究を展開。
- (2) 情報技術者に欠かせない三つの言語（コンピュータ言語、日本語、英語）と数学を重視し、これらを使いこなせるよう、実践的なカリキュラムを編成。
- (3) 高校までに履修した数学、英語力を一定のレベルに引き上げるため、能力別クラス編成を取り入れ、必要に応じて補習授業を実施。
- (4) すべての学生に対してノート型のパーソナル・コンピュータを貸与。
- (5) 新しい試みとして、情報科学部の全講義室で行われる授業をビデオに撮ることができる「講義記録システム」を導入し、学生の復習と教師の研修に使用。

また、情報科学部では、総合大学のメリットを活かし、情報技術の発達为社会に及ぼす影響（社会科学系学部）、文化からみた情報表現（国際文化学部）、コンテンツ作成

（芸術学部）、環境の保全やエネルギーの制御（工学部）など、情報技術に関する既設各学部の研究成果を積極的に取り入れた教育・研究を行います。

卒業生は、4年間で身につけた知識・技術を活かし、高度情報社会の行く先を見定め、将来必要となる先端情報技術を開発し、現行技術の高度化に貢献することになります。

## 2. 社会情報システム学科

社会を十分に理解し

私たちの生活に本当に必要な情報システムの設計・開発が行える人材の育成をめざす

今日、社会における金融、流通、交通、福祉・医療、行政などは、すべて情報技術に依存し、情報技術が社会の安定と発展のために最も重要な基盤になっています。これまで、情報系学部・学科では、人々の生活に必要なかどうかよりも技術優先の教育・研究が進められてきました。しかし、これからは、人々の生活には何が必要で、どのような技術開発が望まれるかという発想に立った教育・研究が必要です。

社会情報システム学科では、この認識に基づき、社会の安定と発展のために情報技術を適切に適用することによって社会に貢献できる人材の育成を目指します。そのためには、情報技術だけではなく、社会を構成するさまざまな要素を十分に理解することが大切です。

具体的には、「インターネット工学」、「情報セキュリティ」、「ソリューション工学」、「ソフトウェア工学」など情報社会の基盤技術を学ぶとともに「金融システム論」、「流通システム論」、「交通システム論」、「医療情報システム論」などにより具体的な社会システムについて学びます。

## 3. 知能情報学科

人間の能力を援助し

快適なヒューマンインタフェース環境を構築できる人材の育成をめざす

人間がコンピュータを利用する場合には、融通性に富む人間が融通のきかないコンピュータに妥協させられているケースがよく見られます。これからの社会を快適にするには、人間がコンピュータの都合に合わせるのではなく、コンピュータが人間に合わせるヒューマンインタフェース(コンピュータと人間との接点)を実現することが必要です。

知能情報学科では、人にやさしく、使いやすい情報システム的设计・開発を行える人材の育成をめざします。そのためには、人間の特性を知って、人間の能力を助け強める情報技術、コンピュータと人間との接点をより快適にするための知能情報処理やメディア処理について学ぶことが必要です。

具体的には、「人工知能論」、「音声・画像/処理・理解」、「ヒューマンインタフェース」、「自然言語処理」、「生物情報論」、「感性科学」などのほか、コンピュータの高速化・高機能化を実現する「組み込みシステム/VLSI工学」、「並列アルゴリズム設計」、「デジタル信号処理」などについて学びます。

#### 4. 情報科学部のカリキュラム

情報科学部のカリキュラムの概念図を図1に示します。情報科学部のカリキュラムには2つの特徴があります。

社会や人間について、幅広く学習

情報科学部では、社会科学系科目・人文科学系科目・自然科学系科目の総合科学科目をベースに、社会や人間についての幅広い知識を身につけ、理解を深めます。これは、社会情報システム学科・知能情報学科のいずれの学科においても、社会を知り、人を知らなければ、決して社会に有用で人の役に立つシステムの設計や開発はできないからです。

具体的には、美学・美術史哲学心理学経済学、経営学法学社会学、国際関係論地球環境論日本語文法などの科目を配置しています。また、情報技術の修得と切り離せない外国語学習にも力を入れています。英語ドイツ語フランス語、中国語、韓国語の5か国語を用意し、特に英語については、英語会話、英語表現法を4年間にわたって学べるよう配慮しています。

全員が情報科学の基礎知識・技術を修得した後、学科独自の専門教育を展開

専門科目については、専門基礎、計算機科学、専門展開の各科目群で編成しています。このうち、専門基礎および計算機科学は、社会情報システム学科・知能情報学科の共通科目として設定しています。ここで全員が情報科学の基礎知識・技術を確実に身につけた後3年次後期から、より専門性の高い学科独自の研究を行います。

情報科学部のカリキュラムを図2に示します。

#### 5. 新聞広告

情報科学部は2001年10月25日と2002年5月8日に新聞広告を掲載しました。それを図3、図4に示します。

情報科学部 カリキュラム概念図

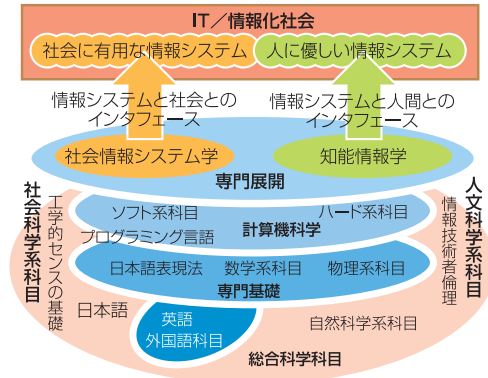


図 1

Curriculum

区分	1年				2年				3年				4年			
	前期	後期	単位	単位	前期	後期	単位	単位	前期	後期	単位	単位	前期	後期	単位	単位
総合科学科目 (学部共通)	美学・美術史	政治学	2	2	日本語文法 I	日本語文法 II	2	2								
	哲学	人文地理学	2	2	技術史	国際関係論	2	2								
外国語科目	心理学	日本語応用	2	2	歴史学	地球環境論	2	2								
	経済学	法学	2	2	生進学習論											
	社会学	経営学	2	2												
	日本国憲法	文化人類学	2	2												
	スポーツ科学演習		2	2												
	英語会話 I	英語会話 II	1	1	英語会話 III	英語会話 IV	1	1	英語会話 V	英語会話 VI	1	1	英語表現法		2	
	英語 I	英語 II	1	1	英語 III	英語 IV	1	1								
	ドイツ語 I	ドイツ語 II	1	1	ドイツ語 III	ドイツ語 IV	1	1								
	フランス語 I	フランス語 II	1	1	フランス語 III	フランス語 IV	1	1								
	中国語 I	中国語 II	1	1	中国語 III	中国語 IV	1	1								
韓国語 I	韓国語 II	1	1	韓国語 III	韓国語 IV	1	1									

区分	1年				2年				3年				4年				
	前期	後期	単位	単位	前期	後期	単位	単位	前期	後期	単位	単位	前期	後期	単位	単位	
専門展開	必修											社会情報システム学演習	2	卒業研究			8
	選択											情報セキュリティ 社会情報学 (特許/知的所有権)	2	金融システム論	2		
計算機科学	必修	離散数学 I 離散数学 I 演習 情報科学序説 情報科学基礎演習	2 2 2 2	2 2 2 2	離散数学 II 離散数学 II 演習 プログラミング基礎 プログラミング基礎演習 計算機アーキテクチャ	2 2 2 2 2	2 2 2 2 2	データ構造とアルゴリズム I データ構造とアルゴリズム I 演習 情報科学基礎実験 情報回路	2 2 1 2	データ構造とアルゴリズム II データ構造とアルゴリズム II 演習 計算機システム 情報回路設計 情報回路実験	2 2 2 2 1	情報セキュリティ 社会情報学 (特許/知的所有権) 経営情報学 流通システム論 ソリューション工学 インターネット工学	2 2 2 2 2	金融システム論 交通システム論 医療情報システム論 ソフトウェア工学 情報システム プロジェクト管理	2 2 2 2 2		
	選択						情報理論・確率論	2	計算の複雑さとオートマトン 統計学 認知科学	2 2 2	計画数学 オブジェクト指向設計 データベース オペレーティングシステムとシステム プログラミング コンピュータネットワーク	2 2 2 2 2	情報セキュリティ 社会情報学 (特許/知的所有権) 経営情報学 流通システム論 ソリューション工学 インターネット工学	2 2 2 2 2	コンピュータグラフィックス応用	2	
専門基礎	必修	情報リテラシー 解析学基礎 解析学基礎演習 情報リテラシー演習	2 2 2 2	線形代数 線形代数演習	2 2			情報理論・確率論	2	計算の複雑さとオートマトン 統計学 認知科学	2 2 2	情報技術者倫理	2				
	選択			日本語基礎 物理学 物理学演習	2 2 2	日本語表現法 現代自然科学	2 2	工学的センスの基礎 微分方程式 微分方程式演習	2 2 2	エンジニアリング エコノミー 安全科学 インターンシップ	2 2 2 2	情報技術者倫理	2	計画と管理	2		

区分	1年				2年				3年				4年				
	前期	後期	単位	単位	前期	後期	単位	単位	前期	後期	単位	単位	前期	後期	単位	単位	
専門展開	必修											知能情報学演習	2	卒業研究			8
	選択											人工知能論 音声・画像/処理・理解 ヒューマン インタフェース マルチメディア 組込みシステム VLSI工学 並列アルゴリズム設計	2 2 2 2 2 2 2	デジタル信号処理 自然言語処理 生物情報論 工業デザイン 感性科学	2 2 2 2 2		
計算機科学	必修	離散数学 I 離散数学 I 演習 情報科学序説 情報科学基礎演習	2 2 2 2	離散数学 II 離散数学 II 演習 プログラミング基礎 プログラミング基礎演習 計算機アーキテクチャ	2 2 2 2 2	データ構造とアルゴリズム I データ構造とアルゴリズム I 演習 情報科学基礎実験 情報回路	2 2 1 2	データ構造とアルゴリズム II データ構造とアルゴリズム II 演習 計算機システム 情報回路設計 情報回路実験	2 2 2 2 1	計画数学 オブジェクト指向設計 データベース オペレーティングシステムとシステム プログラミング コンピュータネットワーク	2 2 2 2 2	知能情報学演習	2	金融システム論 交通システム論 医療情報システム論 ソフトウェア工学 情報システム プロジェクト管理	2 2 2 2 2		
	選択					情報理論・確率論	2	計算の複雑さとオートマトン 統計学 認知科学	2 2 2	計画数学 オブジェクト指向設計 データベース オペレーティングシステムとシステム プログラミング コンピュータネットワーク	2 2 2 2 2	知能情報学演習	2	金融システム論 交通システム論 医療情報システム論 ソフトウェア工学 情報システム プロジェクト管理	2 2 2 2 2	コンピュータグラフィックス応用	2
専門基礎	必修	情報リテラシー 解析学基礎 解析学基礎演習 情報リテラシー演習	2 2 2 2	線形代数 線形代数演習	2 2	日本語基礎 物理学 物理学演習	2 2 2	日本語表現法 現代自然科学	2 2	工学的センスの基礎 微分方程式 微分方程式演習	2 2 2	情報技術者倫理	2	計画と管理	2		
	選択			日本語基礎 物理学 物理学演習	2 2 2	日本語表現法 現代自然科学	2 2	工学的センスの基礎 微分方程式 微分方程式演習	2 2 2	エンジニアリング エコノミー 安全科学 インターンシップ	2 2 2 2	情報技術者倫理	2	計画と管理	2		

図 2



(無3種郵便物認可)

西日本新聞

2002年(平成14年)5月8日 水曜日

【全面広告】

4

これからは、理系と文系の融合系。

技術や知識も大切だけど、これからは「人間」としてバランスのいい人が求められる時代。ここでは理系と文系の壁をこえている学生が注目の的。香エネルギーを重んじた設備だし、シックハウス対策や心地よいリビング空間があったり、僕も地球も快適です!



情報科学部1年 今村 隆

この環境と設備は、次代のリーダーたちのために機能する。

東京へ行く必要はないと思った。

光ファイバーによるネットワーク設備、無線LANの設備、すべての講義室からネットワークアクセスもOK。建物の床全面がOAフロアになっています。これからの大学は「どこにあるか?」よりも「どんな環境を持っているか?」が大事だと実感しました。きっと東京へ行くよりも、目標に早く近づけると思っています。



情報科学部1年 西本 啓亮

私たちは、もう、未来を歩いている。

すべての教室の床に情報コンセントがあって、大学から貸してもらっているノートパソコンを接続すれば世界へアクセスしながら授業を受けられます。教室には液晶モニターが多数設置されていて、授業をするために呼び出すだけでいつでも画面を見ながら、ポイントを確認することもできます。

世界と未来を見つめると、ここまでの環境が必要でした。

# 九州産業大学「情報科学部」新棟竣工

◎社会情報システム学科 ◎知能情報科学科  
九州にいながら、最先端の学問を学ぶ。九州にいながら、世界と対話する。九州産業大学の新学部「情報科学部」は、全国でも6大学にしか設置されていない注目学部。従来の「情報工学」や「情報システム工学」といった技術的な視点だけではなく、「理系」に軸足を置きながら人間の生きがいや、よりよい社会の在り方、そして文化・芸術にいたるまで、「理系」「文系」の壁を越えた視点でこれまでにない能力の育成を目指します。日本が、最先端のIT国家を目指して取り組んでいる「e-JAPAN」構想が結実するであろう4年後、「情報科学部」の第一期卒業生は、ハード分野からソフト分野まで、そして日本から海外まで幅広く活躍できるフィールドへ飛び立っていくにちがひありません。

総合大学のメリットを活かし、他学部・学科との連携がとれた独自の教育システム

2年間で情報科学の基礎を学び、3年次で専攻学科を決定します。

学生会員にノート型パソコンを貸与。日本の中で情報処理感覚を養います。

情報技術者に欠かせないコンピュータ英語・日本語・英語が得意になる実践的なカリキュラムを編成しています。

数学・英語・国語の基礎学力の修得も重視し、自立的に学ぶ力が身に付くまで指導します。

講義と演習・実験をセットにした授業を行い、少人数でめげない指導を行います。

情報処理技術者をめざす1ヶ月間、卒業後の取組をサポートします。

授業科目として「インターンシップ」を開設しています。

採用卒業制度導入 卒業要件の単位を優秀な成績をもって修得したと認められた場合、3年間で卒業することが可能です。



◎情報科学部新棟【鉄骨・鉄筋コンクリート造 6階建/延床面積11,867.39㎡】

**K&U九州産業大学** 〒813-8503 福岡市東区祇園台2-3-1 TEL 092-873-5555 (入試課直通) http://www.jp.kyusan-u.ac.jp/ 併設校 九州造形短期大学 〒813-0084 福岡市東区祇園台2-3-2 TEL 092-873-5151 http://www.zac.kyusan-u.ac.jp/

祝竣工 九州産業大学「情報科学部」新棟建設には、私たちが参加しました。

- 【設計監理】 (株)教育施設研究所
- 【総務監理】 安藤建設(株)九州支店 鉄建建設(株)九州支店 松尾建設(株)福岡支店
- 【電気設備工事】 (株)九電工
- 【空調衛生設備工事】 三建設備工業(株)
- 【建築衛生設備工事】 高砂熱学工業(株)
- 【ネットワークシステム】 住商エレクトロニクス(株)
- 【基礎建設工事】 (株)日立ビルシステム
- 【造作工事】 (有)武東鉄工所
- 【外装工事】 小野建(株)
- 【カーテンウォール工事】 トステム(株)
- 【金属製建具工事】 東洋工務(株)
- 【内装(床)工事】 八洲建材(株)
- 【内装(壁紙・ポーチ)工事】 (株)九州ユニティ
- 【塗装工事】 (株)ダイニチ
- 【外構工事】 鹿島道路(株)
- 【石・タイル工事】 (株)北浦タイル
- 【金物工事】 (合)古谷金物店
- 【新築機材・シーリング工事】 九州創建(株)

図4 2002年5月8日新聞広告